

しあわせ

# 地方からの「幸福づくり」 女性フォーラムinあおもり

ダイジェスト

～手をつなぐ、心をつなぐ、力を繋ぐ～

日時 平成15年7月30日(水) 午後1時30分～ 会場 ホテル青森(青森市)

青森県 青森市

北村 真夕美

NPO法人「青い森空間創造女性会議」理事長  
(株)青森経営研究所 代表取締役

日本は地方の一つ一つの集合体です。  
地方の幸福は日本の幸せです。  
人とモノが自由闊達に行き来してこそ  
本当の意味での「豊かさ」や「幸せ」が  
みなぎるのではないのでしょうか。

青森県 青森市

行方 知代

(株)東奥日報社 文化部記者

八戸への取材は1日ばかりです。  
県庁所在地と第二の都市がこれだけ  
アクセスが悪いというのは大きな  
損失です。

北海道 帯広市

石原 由美子

石原由美子建築デザイン事務所 所長

「高速道路」の整備は仕事をする  
女性の可能性を広げてくれます。

秋田県 横手市

篠木 郁子

(有)鎌倉商店 取締役

県内は無論、山形県とも  
つながりたいです。  
道路整備の格差と理不尽  
さを感じています。

山形県 山形市

今田 早百合

今田早百合行政書士事務所 所長

途切れているから使えない「高速道路」  
どうして血液を止めるような  
道路づくりがされているのでしょうか。

山形県 山形市

結城 玲子

環境デザイナー(株)クラフト 取締役

東北の高速道路はなぜ、こんなに  
途切れているのでしょうか。切れた  
ところをつながなくては使うことは  
できません。

東北の道をつなぎたい



秋田県



山形県



福島県



青森県



岩手県



宮城県

福島県 三島町

遠藤 由美子

「奥会津書房」編集長

雪害や津波、核燃料リサイクル基地、  
原子力発電施設。緊急避難道路  
としての「高速道路」がつながって  
いない恐ろしさを考えてください。

宮城県 仙台市

島田 由紀子

(有)アド・フォート 取締役

比較的便利な仙台でも頼りは車です。  
東北の都市と都市がつながる道路から様々な  
ビジネスチャンスが生まれます。



# 「途切れ途切れ」の地方の道路をつないでほしい!



六ヶ所原子燃料サイクル施設



**青森市～秋田市**  
現在の所要時間 - 約4時間  
全線開通後  
**約2時間**

◆青森～八戸間は  
まだ高速道路で  
つながっていません

東北縦貫自動車道・八戸線  
(青森市～東京都)

**青森市～八戸市**  
現在の所要時間 - 約2時間30分  
全線開通後  
**約1時間**

**青森市～山形市**  
現在の所要時間 - 約9時間  
全線開通後  
**約4時間**

津波の被害(写真提供:大船渡市)



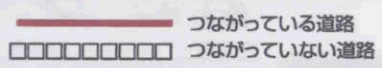
三陸縦貫自動車道  
(宮古市～仙台市)

日本海沿岸東北自動車道  
(青森市～新潟市)

**青森市～新潟市**  
現在の所要時間 - 約10時間  
全線開通後  
**約5時間**

**宮古市～仙台市**  
現在の所要時間 - 約6時間  
全線開通後  
**約3時間**

## 東北の高速道路の整備状況



東北の道の力をつなぎたい ← 「路通財通」 → 東北の道の力をつなぎたい

遠藤 由美子

福島県 三島町

福島県や青森県にある原子力発電施設、そして核燃料サイクル基地。そこから緊急避難するための道路がありません。つながっていないこの恐ろしさと一緒に考えてください。



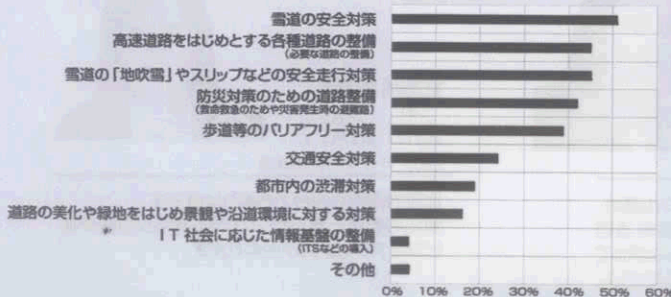
福島第一原子力発電所

## 「途切れ途切れ」の地方の道路をつないでほしい

フォーラム会場などで行われたアンケート集計結果の抜粋です

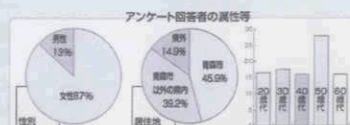
1. これからの道づくりにどのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答)

「道路の安全対策」と「道路の「地吹雪」や「スリップ」などの安全走行対策」を求めている方が圧倒的多数を占めており、雪道では大きな生活問題となっていることがうかがえる。また、「高速道路をはじめとする各種道路の整備」の必要性を訴えた方も半数となっている。



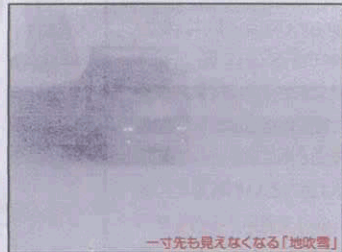
2. 現在の道路状況についてのお考えをお聞かせください。

「まだまだ道路整備の必要がある」と「地域によって道路整備に格差がある」と答えた方がほとんどであり、地方においては道路整備の必要性を表している。



# 危険と隣り合わせの暮らしと仕事

怖いのは雪道です。  
大雪や地吹雪だからといって取材を断わるわけにはいきません。  
真っ白で1m先も見えない地吹雪の中を  
命がけで進みます。  
「何とかならないものか」と  
冬が来るたび思っています。  
青森県／行方 知代 (なめかた ちよ)



日本のエネルギーを支えている青森・福島施設



福島第一原子力発電所



六ヶ所再処理燃料サイクル施設

福島や青森にある原子力発電施設。

そして、核燃料サイクル基地。

そこから緊急避難するための

道路がありません。

つながっていない。

この恐ろしさを

一緒に考えてください。

福島県／遠藤 由美子 (えんどう ゆみこ)



山形県  
結城 玲子 (ゆうき れいこ)

冬道は怖いです。春が来てタイヤを交換すると、  
この冬も「無事、生きていたな」とつくづく思います。  
吹雪で前方が見えない怖さ。道路凍結でスリップする怖さ。  
これを東北の自然エネルギーを使って解消できないでしょうか。



昭和8年 三陸大津波 写真提供：気仙沼市

三陸海岸に住んでいる

人々の恐怖は地震による

「津波」です。

緊急避難路、救援のための道路がつながって  
いない怖さをかみしめています。

岩手県／山崎 緑莉 (やまざき みどり)



平成13年2月3日 掲載

平成13年2月4日 掲載

## 11台多重衝突、1人死亡

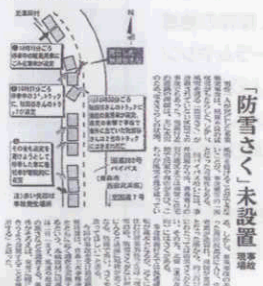


7時前後に発生した、青森11号のトラックの追突により1人が死亡した。乗客は3人、乗員は1人。乗客は全員軽微な怪我で済んだ。乗員は重傷を負った。乗客は全員軽微な怪我で済んだ。乗員は重傷を負った。乗客は全員軽微な怪我で済んだ。乗員は重傷を負った。

車降りたら後続車追突、衝突で体挟まれる  
猛吹雪で視界不良

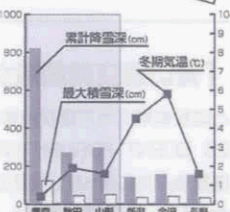
「防雪さく」未設置

記事／東奥日報社提供



平成6年12月30日 掲載

記事／河北新報社提供



最深積雪 (平成10年～平成14年 5ヶ年の平均値) 人口はH12国勢調査による

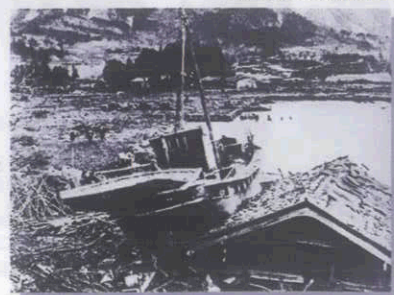
市名	累計降雪深 (cm)	最大積雪深 (cm)	冬期気温 (℃)	人口 (人)
青森	823	122	0.4	297,859
秋田	273	43	1.9	317,625
山形	299	49	1.6	255,369
新潟	143	35	4.5	501,431
金沢	180	40	5.8	456,438
長野	155	33	1.6	360,112

出典／気象庁



昭和32年 チリ地震による大津波  
写真提供：大船渡市

昭和8年 三陸大津波  
写真提供：気仙沼市



# 不便なところにビジネスチャンスはありません。 競争力も持てないのです。

〈あおり発〉  
地方からの  
「幸福づくり」女性フォーラム  
- 東北の道の力 -

日本の地方と呼ばれる「東北」に根を張って暮らし、仕事を持って働く女性たち。  
そんな女性たちを支えているのは、社会資本である「道」です。

地方といわれる地域であればあるほど、女性の社会進出は「道」の整備推進とともにあるといえます。それは地方といわれるどの町も村も、公共交通体系の整備からとり残されているからです。不便があたり前の地域で成功するビジネスは限られます。

東北の女性たちは仕事の「やりがい」や、東北に暮らすことの「生きがい」を自らの手で創りあげて「幸福づくり」に励んでいます。

地方の幸福は、日本の幸福です。とかく忘れられがちな「道」の力。「幸福づくり」のための「足」と「意欲」を支えつづけている東北の道の姿、そして「東北の道の力」を見つめ直してみませんか。



東北芸術工科大学と連携してインターネットを使い、山形の文化や芸術を外国人向けに提供する観光ビジネスを立ち上げます。  
東北に外国人の来客が少ないのは道路のアクセスが悪いからです。  
山形県/今田 早百合

ただ東京と結ぶための道路ではなく、東北の都市と都市がつながってネットワークができれば人もモノもつながって、様々なビジネスチャンスが生まれるはずですよ。

宮城県/島田 由紀子



北海道の道も問題が山積です。東北、北海道の女性たちで、連携を強めて高速道路のネットワーク完成のために活動していきたいです。  
北海道/石原 由美子



東北は「癒し」の空間です。道路を使ってたくさんの人々が訪れます。ゆたかで高品質の自然を守りながら自分のくらしそのものの質も高めながら共生していきたいです。  
秋田県/篠木 郁子



自然や食の宝庫である東北。週に5日は太平洋側にある気仙沼のレストランで働いて、残りの2日は日本海側の大好きな島海山麓にペンションを建てて、東北を味わいつくす仕事と暮らしがしたいです。

宮城県/鈴木 玲子



行列のできるレストラン

## パネルディスカッション

### 「東北の道の力をつなぎたい」

#### パネリスト

- 福島県 遠藤 由美子氏 「奥会津書房」編集長
- 山形県 今田 早百合氏 今田早百合行政書士事務所 所長
- 秋田県 篠木 郁子氏 (有)藤倉商店 取締役
- 宮城県 島田 由紀子氏 (有)アド・フォート 取締役
- 岩手県 山崎 緑莉氏 (株)浪板観光ホテル 取締役
- 青森県 行方 知代氏 (株)東奥日報社 文化部記者

#### コメンテーター

- 北海道 石原 由美子氏 石原由美子建築デザイン事務所 所長
- 山形県 結城 玲子氏 環境デザイナー(株)クラフト 取締役
- 宮城県 鈴木 玲子氏 NPO法人「キッチンスペース夢の会」理事長

#### コーディネーター

- 青森県 北村 真夕美 NPO法人「青い森空間創造女性会議」理事長 (株)青森経営研究所 代表取締役



地方からの「幸福づくり」女性フォーラムinあおりに出演の皆さまとNPO法人「青い森空間創造女性会議」の役員一同

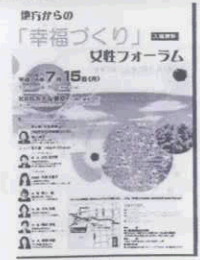
## NPO法人「青い森空間創造女性会議」

1992年、青森県と建設省東北地方建設局青森工事事務所主催で開催された「LADIES SCENT FORUM」を契機に、青森の地域づくりを考える公開座談会がはじまった。数回のフォーラムやシンポジウムに関わる中から「青い森空間創造フォーラム」の企画、運営を行うに至り、特定非営利活動法人の申請につながった。

組織は仕事を持つ女性で構成されている。会社役員及び通訳者、地方自治体の管理職者、学校法人管理者などである。

「まちづくり」・「人づくり」をテーマとして、地域間交流や女性の連携による地域の「幸福づくり」につながる活動を展開している。

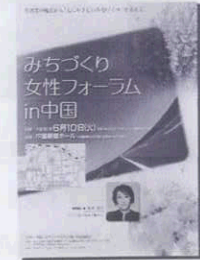
平成14年7月15日(月)/東京都開催  
〈あおり発〉地方からの「幸福づくり」女性フォーラム



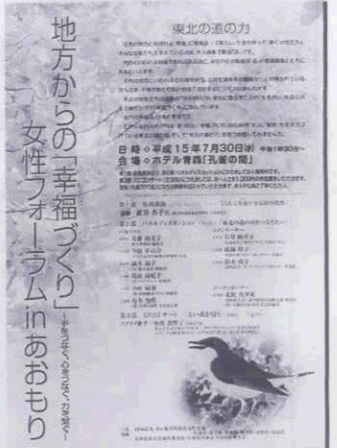
平成14年11月7日(木)/北海道帯広市開催  
〈とちか発〉地方からの「幸福づくり」女性フォーラム



平成15年6月10日(火)/広島県広島市開催  
みちづくり女性フォーラムin中国



平成15年7月30日(水)/青森県青森市開催  
〈あおり発〉地方からの「幸福づくり」女性フォーラム



地方からの「幸福づくり」女性フォーラムinあおり

